

令和2年6月2日

議案第3号 令和元年度 鹿島山北高等学校及び株式会社山北学園の
運営及び評価について

山北町教育委員会
教育特区推進室

鹿島山北高等学校の学校運営状況、及び学校設置会社の経営状況について、
評価並びに指導・改善点を次のとおり報告する。

1. 鹿島山北高等学校の評価

(1) 構造改革特別区域認定の意味と地域の特性をよく理解して、教育環境の質を下げることなく、地域・施設を利用しながら学校全体で教育に取り組んでいることが確認できる。

- ① 通信制の基本である添削指導、面接指導、認定試験の認定制度に合わせた教育方法の全てが山北町教育特区内で実施されている。
- ② 個別指導希望者に対しても教育の質を下げることなく、学力の向上を目指した指導を展開している。
- ③ 教育相談体制の取組に際しては、生徒が社会の一員としての自覚が持てるようカウンセリングの技法や生徒指導のための専門知識を学習し生徒に寄り添いながら問題解決に取り組んでいる。
- ④ 地域の宿泊施設の収益に協力するために、開校時より土・日・祝日に利用の多い観光客との宿泊バランスを取るため、スクーリングを平日に限って実施。地域貢献に努力している。
- ⑤ 教職員の資質向上のため学校独自の校内研修、外部研修に参加させている。このことは将来の教育のイノベーションに繋がる。
- ⑥ 学校設定4教科や総合的な学習の時間、特別活動の時間等で積極的に地域の自然研究や施設との連携・有効利用を行っている。

(2) 教職員の業務及び施設、設備などの学校運営改善に取り組み、生徒の教育環境の質の確保・向上に向けて前向きに取り組んでいる。

- ① 教員免許の認定期間の徹底管理、更に免許状更新講習等の受講など、徹底されている。
- ② 学校の施設、設備は整理・整頓され、地域行事の有効利用などが

図られている。(山北町マラソン大会、花火大会など)

- ③ 校務分掌により業務が円滑に進むよう教職員に意識をさせている。専任教員も過半数を維持する等、設置基準を遵守している。
- ④ 教育活動の際、社会の一員としての指導を怠らないように継続してほしい。

2. 学校設置会社(株式会社山北学園)の評価

(1) 構造改革特別区域認定の意味と地域の特性をよく理解して経営の安定化に取り組んでいることが確認できる。評価はA。

- ① 生徒募集にあたっては、民間主催の「合同説明会」等に積極的に参加して、学校周知に努力している。
- ② 外部アドバイザーの採用などによって、組織運営のサービスに関して改善されるよう取り組む努力がされている。
- ③ 令和元年度 教職員採用において、積極的に山北町及び周辺地域の人材を登用している。
- ④ 専門分野に従事する地元住民を実習講師として登用している。

(2) 学校現場との意思疎通が綿密に図られており、提案の具現化に向けて、スムーズに行われている。

- ① 生徒情報はデジタル化(学籍台帳、成績台帳等)によって保管・管理されている。個人情報の観点から取扱いには十分注意のこと。
- ② 授業に係わる副教材、専門書などの教材、教具、図書の実充に努めること。パソコンなどICT機器の実充が遅れているようだが、学校教育の質の向上を目標に一層努力してほしい。
- ③ 校長の指導のもと教職員による生徒の安全・安心など危機管理体制の整備をさらに強化してほしい。学校は山北町との連携体制が重要で防災対策訓練などに参加する計画も策定されているようだが、地震・台風など災害後の整備等において速やかに連携し合うこと。常にマニュアル等の見直しをしてステップごとに対応することを怠らないこと。マニュアルによらない活動も共有すること。
- ④ エアコンの設置は教育環境の維持、向上に繋がる重要な課題。環境整備が教育の質にも繋がるため実施に際しては怠らないこと。

以上の点から、課題はあるが全体的な評価は「A」とする。

鹿島山北高等学校評価と通知及び公表等について

- 1 構造改革特別区域法第 12 条第 5 項に基づき、教育特区推進室が評価する。
- 2 別紙「学校評価表」により、A(良好である)、B(特筆すべき改善点はない)、C(改善すべき点が見受けられる) の基準で判定するとともに、業務状況書類等の備え置き 及び事業報告書の記載事項について評価する。
- 3 判定の時期は毎年度末(1 回)とし、同法第 12 条第6項に基づき、当該学校に結果を通知するとともに、速やかに山北町ホームページで公表する。
 - (1) 公表原稿は推進室が作成し、私学審議会に諮る。
 - (2) 公表期間は通年とし、業務状況書類等に準じて直近の三年間分を公表する。

山北町教育特区推進室

【教育特区推進室評価】

令和元年度 鹿島山北高等学校 評価表

項 目		評 価 基 準	評価	備 考 及 び 改 善 指 導
教育課程 ・ 学習指導	授業等の状況	生徒の興味・関心を尊重した授業の進め方と学級経営	A	動画配信の学習指導は不採用。対面授業を基本としている (動画配信は現在、SCの代替えとならない)
		体験学習の実施と地域の人材活用	A	
		学習指導要領の遵守と地域特性の活用	A	
	教育課程等の状況	体験学習、学校行事などの管理・実施体制	A	
		年間指導計画の編成及び適正な時間割	A	
		補充的学習時間の設定及び発展的学習の実施	A	添削課題の解説書作成で生徒は大いに期待
キャリア教育	組織的、計画的にキャリア教育に取り組む体制	B	将来に繋がるキャリア教育の情報提供の積極的实施	
	生徒の学籍台帳及び成績台帳等の個人的資料の管理	A		
	社会的・職業的自立のための体系的・系統的な指導	B	自立のための進路指導の実施	
	保護者や地域社会との連携協力の状況	B	生徒住居地が広域のため、実施方法の検討	
	職場体験活動や就業体験活動の状況	A	一層の活動を期待	
生徒 指導	生徒指導の状況	緻密な生徒指導の体制	A	
		出席、遅刻・早退のデータ管理と指導体制	A	
	人格的発達のため の指導	基本的な生活習慣を身につけさせる工夫	A	
		社会人としての勤労、公德心意識等の指導の状況	A	
保健管理	地域の保健・医療機関等との連携の状況	A		
	健康管理と健康診断の実施の状況	A	正しい知識・情報で対応できるよう指導する	

項 目		評 価 基 準	評価	備 考 及 び 改 善 指 導
安全管理		学校事故等の緊急事態発生時の対応	A	防災訓練に職員が参加。非常食、飲料は備蓄
		危機管理マニュアル等の作成・活用の状況	A	事件事故に関してはマニュアルは存在
組織運営		校務分掌等の機能性と運営・責任体制の整備	A	随所にしっかりされているのがうかがわれる
		計画・執行・決算・監査に至る財務運営の状況	A	
		職専免研修の承認状況、サービス監督の状況	B	外部アドバイザーによる監査・助言
		各種文書や個人情報等の管理の状況	A	
資質向上の取組		校内研修・校外研修の実施・参加状況	B	参加を促進し学校の質の向上に役立ててほしい
		授業改善の取組の状況	B	更なる充実
教育目標 ・ 学校評価	教育目標の設定と 自己評価の実施	自己評価の実施と改善の状況	B	引き続き、改善目標の達成
		学校の状況を踏まえた教育目標の設定の状況	A	
	学校関係者評価の 実施状況	第三者評価の実施状況	A	
		第三者評価の結果の設置者への報告の状況	A	
	生徒・保護者の意 見・要望等の状況	教育相談体制の整備状況	A	有資格者の常駐
		生徒・保護者の授業満足度等の評価把握の状況	B	アンケートによって教育方法など声を聴き、改善する
情報提供		学校に関する情報の提供状況	B	地域への情報発信の充実
		学校評価結果の公表状況	A	
		情報提供手段の工夫とホームページの活用	B	一層の努力を期待

項 目		評 価 基 準	評 価	備 考 及 び 改 善 指 導
保護者、地域住民等との連携		地域の自然や文化財、伝統行事などの教育資源の活用状況	A	学校として伝統行事に積極的に参加
		授業等における地域の人材など外部人材の活用状況	A	地域ならではの情報共有に繋げる
教育環境 整備	施設・設備	施設・設備の活用状況	A	家庭科室は自習スペース、進路指導室は面談スペースとして、保健室などは多くの生徒に対応している。
		設置者と連携した施設・設備の点検、整備の状況	B	更なる充実(エアコンは設置しておらず、今後の課題)
	教材・教具等	設置者と連携した教材・教具・図書の整備、充実	B	更なる拡充・充実を期待。

1. 採点は「A=良好である」「B=特筆すべき改善点はない」「C=改善すべき点が見受けられる」に基づき評価を実施。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、教育特区推進室は高校の教育活動などの実績等から評価を実施した。

3. 上記評価は、平成31年4月1日～令和2年3月31日までの1年間を対象としている。